1 第1期総合戦略の検証の流れ

目標値 達成状況 の検証	○基本目標⇒「転出超過」「合計特殊出生率」の目標達成が厳しい○各施策のKPI ⇒ 全体の約75%の項目が概ね順調に進捗		
調査実施	県内大学生・高校生等の就職意識等調査 (R元.9~11 実施)		
第2期総	第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の検証を実施		
合戦略の	・施策効果が十分に発現するに至っていない「地方への人の流		
策定(国)	れ」「結婚・子育て等の希望をかなえる」について要因分析		
転出超過 等の要因	国の第1期の検証や県民アンケート調査結果などを踏まえ、「転出超過」及び「合計特殊出生率」に影響を及ぼす要因を分析		
分析	・県内大学生・高校生等の就職意識等調査 ・子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査		
	①第1期の取組等の検証(進捗が遅れている取組の詳細分析等) ・県内企業の魅力発信や還流・移住の取組などが弱い等 ②KPIの必要な見直し(項目の追加、目標数値の精査等)		
要因分析	・移住やワーク・ライフ・バランス、子育て関連項目の充実等		
を踏まえ	〈移 住〉移住就業・創業件数、UJIターン実績数(移住者数) 等		
た対応	〈ワーク〉年間総実労働時間、「やまぐちイクメン応援企業」登録企業数 等		
	〈子育て〉まちかどネウボラ認定数、結婚応縁センター引き合わせ実施件数等		
	③第1期の取組の改善や実効ある新たな取組の検討(新年度予算)		
	・人の流れや生活の質向上の取組、少子化対策全般の強化等		

2 基本目標の設定

区分	目標	参考:第1期
雇用創出	5年間で <u>若者や女性8千人</u> の雇用 の場を創出	5年間で <u>若年者6千人</u> の雇用の場 を創出
人材 定着	R 1 2 の転出入者数均衡に向け、 R 6 までに <u>転出超過を半減</u> 〈R元: ▲4,430 人〉	R 7の転出入者数均衡に向け、R 元までに <u>転出超過を半減</u> 〈H26:▲3,647人〉
結婚 子育て	R 6までに合計特殊出生率を 1.7 (=本県の希望出生率)に向上 〈H30:1.54〉	R 1 2の合計特殊出生率 1.9(=本 県の希望出生率) に向け、R元ま でに 1.65 に向上 〈H26:1.54〉
地域社会	元気生活圏づくりに <u>取り組む地域</u> 数をR6までに70地域に増加 〈H30:48地域〉	中山間地域を抱える <u>全18市町で</u> 元気生活圏づくり推進方針を策定 し、元気生活圏の形成に着手

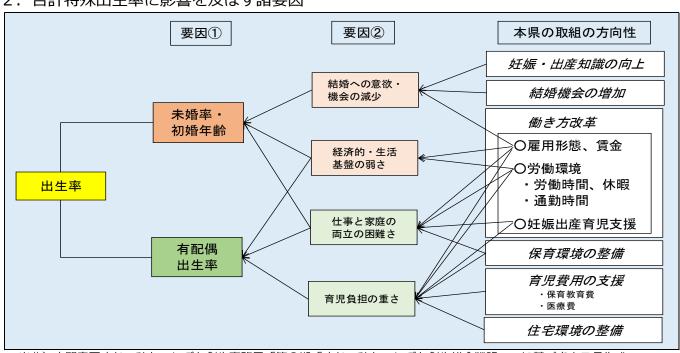
「転出超過」及び「合計特殊出生率」に影響を及ぼす諸要因

1. 転出超過に影響を及ぼす諸要因

	要因①	要因②	本県の取組の方向性	
個	果牙麿(天郁中	希望する企業(大企業等)・業種のあるイメージが高い、企業の認知度が高い	_	
			_	
		東京圏(大都市圏)への憧れ	_	
	地方に惹かれなり		若者に魅力ある雇用の場の創出	
		希望する企業・業種が不足、企業の認知度が 低い	女性が活躍できる職場環境づくり	
			企業誘致(企業の本社機能の移転含む)	
			情報通信産業、成長産業等若者に魅力ある産業の育成	
			県内企業等の県内高校生・大学生等への魅力の発信	
			県内企業等の大都市圏への魅力の発信	
		志望したい大学(学部)がない、大学の認知度		
の		が低い	県内大学等の魅力の発信	
要因		生活が不便(イメージ含む)	住みよい地域社会の形成	
			教育環境の充実	
			住みよさの情報発信	
		地元を離れたい(しがらみが面倒)	郷土への誇りと愛着の向上	
		エンターテインメントが少ない	<u> </u>	
	移住を阻害する	経済的に負担	経済的支援の充実 	
		地方・移住等に関する情報がない	相談対応・情報提供、受入れ支援の充実強化	
		地方との関わりがない		
		生活・仕事・学校を変えたくない	関係人口の創出・拡大	
		人付き合いを失いたくない		
企業の動向		雇用環境の違い(地方における低賃金・業種 の少なさ等)	[再掲]若者に魅力ある雇用の場の創出	
		地方における女性が活躍できる職場の少なさ	[再掲]女性が活躍できる職場環境づくり	
		東京圏(大都市圏)への本社機能の集約	[再掲]企業誘致(企業の本社機能の移転含む)	
		情報通信産業・成長産業・グローバル企業・ク		
		リエイティブな仕事の東京圏(大都市圏)への	[再掲]情報通信産業、成長産業等若者に魅力ある産業の育成	
		集中		
		東京圏(大都市圏)の企業の地方圏からの採		
		用者数の増加	_	
		地元企業の認知度の低さ	[再掲]県内企業等の県内高校生・大学生等への魅力の発信 [再掲]県内企業等の大都市圏への魅力の発信	
		オリンピック・パラリンピックによる需要増加		
東京	圏(大都市圏)	インバウンドによる宿泊需要の増加	_	
		東京圏(大都市圏)の環境・住環境の改善	_	
		東京圏(大都市圏)のインフラ整備	_	
		東京圏(大都市圏)における人手不足	_	
[2] [2] [2] [3] [3] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4				

出典) 国の「第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する検証会中間整理」を参考に山口県作成

2. 合計特殊出生率に影響を及ぼす諸要因



出典)内閣官房まち・ひと・しごと創生事務局「第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」」に基づき山口県作成